

【めむろ未来ミーティング】

令和2年1月21日(火)

13:30～15:00

芽室太地域福祉館

■参加者 2人

■芽室町 町長、企画財政課長、農林課長、建設都市整備課長補佐

■記録 矢野

■対応・検討が必要な事項

①地域福祉館の経緯の件（保健福祉課）

- 1 開会
- 2 町長挨拶
- 3 質問事項の回答
- 4 意見交換

【意見】

この再整備について、去年の11月15日の構想としてあげたということだが、今まで聞いていなかつたことなので驚いている。これまでここをどうするかに関しては色々とあったが、地域としては建て替える方向は考えていないかったため、町が突然こうした構想をあげたのは何故かという疑問がある。恐らく地域の協議が一切伝わらないまま途中で色々なことが起きているのだろうなと想像するが、詳しい経過など教えていただきたい①。

【企画財政課長】

私の把握している限りでは、地域との協議を経て今のような構想に落ち着いたと理解している。

【意見】

いや、全くそのような話にはなっていない。恐らくは、途中で団体などのさまざまな話が混ざ

ってぐちゃぐちゃになってしまって全く正確に伝わっていない。

私たちとしては、「この建物だからこそ残す意味がある」と思っているし、建て替えるもそれをこの先30年・40年維持管理していくつもりは全く無い。そもそもここは利用率が低く、今の時代は集約化という流れもあることを踏まえて、きちんと会議が出来る場所さえ確保されているのであれば、市街地でも良いという話になっていた。

ただ、芽室には色々なサークル等があり、町のそうした場所も予約率が高く自由に使える状況ではないため、私たちがいつでも会議室を確保できるとは限らないという現状の中では、まだこの役割としては終えていないし、建物自体にも耐震性はあると出ている中で、建築基準法上の何かに引っかかったとかで、何故わざわざ建て替えることになっているのか、色々なことが地域としてはさっぱり分からぬ。私たちの知らない所で勝手に「建て替えたい」という意向が入ってそれがこうした結果になっているとしか思えない。

【企画財政課長】

今仰った話を私は把握しており、最初は建て替えないという流れだったが、その後地域との協議の中で話が変わり、建て替えることになったということを聞いている。

【意見】

この維持管理をまた再開するという話であって、私の知っている範囲では、建て替えるという話は一切していない。

【企画財政課長】

了解した。その話に関しては必ず確認する。確認した上で、もう一度お話をさせていただく。

【町長】

私も聞いているのは今の所までと、維持管理については、色々な地区があって出来る所と出来ない所があるから利用団体と地元の方とで交互に隔年で維

持管理をしていこうということは聞いている。

【意見】

そもそも、ここを維持できないと言ったのも、結局利用率が高まれば管理も大変になるということで、元々、過去の流れの中では利用団体を交えたうえでやっていたのだが、実質途中から出てこなくなり、しかし実際サークルや使用しているのは利用団体が多いという状況がある。加えて、運営に対しての文句やクレームも色々来るという中で、「こんな状況ではやっていけないから、無くす方向でいこう」というのが私たち地域での流れ。

また、生活館とうたってはいるが、利用団体と一緒に建物ということは、結局は同じような状況に陥る可能性もあるだろうし、私たちも新しく世代が変わって未来に向けてやっていこうかという中で、あちらに対する地域の信頼は高くないので、今後また世代交代する中で一緒にそれを維持し続けていくつもりは一切無い。

よって、いきなりこのような計画を出されても困る。一体誰と何を話していたんだ、という感じを受ける。

【企画財政課長】

理解した。最初に話した通り、確かに令和元年1月15日現在では町の大きな方向性としてこのように決めたのは事実だが、町の担当のほうと実際に住んでいる方の認識がずれているようなので、改めて必ずまた協議をしたい。持ち帰って必ず確認する。

【町長】

確認は当然だが、保健福祉課などが現在主体的にやっているので、課長を含めてもう一度説明を聞く。

【意見】

いや、前の時にも何回も説明を受けたが、やはり私たちの言ったことを町の方でまとめて返ってくるという中で、そのやり取りだけがあって何も進まない状態だったので、難しいと思う。

恐らく何かしらの意図が入ってしまっているのだ

ろうが、そもそもあの利用率でここに建てるという意味も分からぬ。何を目指しているのかさっぱり分からぬし、色々なことが上手くいっていないようを感じる。地域としての必要度はその程度であることをご理解いただきたい。

【町長】

市街地の会館などの利用を検討することは私も聞いている。

【意見】

他の市町村では管理人がいて運営している所があって使いやすくなっているが、芽室の場合は、公共の場所は色々なサークルが使用し、逆に地域のこうした会館はある程度地域に任せている状態なので利用率が上がらないという部分がある。

なので、地域のことではなくても、現状の芽室としての使い方としても勿体ない部分もあると思う。もっと徹底してきちんと管理できる専門の人たちがいれば利用率が上がるのかも知れないし、現状、中央公民館やめむろーどや体育館は、埋まっている・利用率が高いという状況があるので会館を上手く活用する方法を考えるというのも検討して欲しい。情報のどうこうではなく、それが伝わらないシステムそのものに無理があると思う。何故これだけはつきり言っているのに建て替えという選択肢になるのかが全く理解できない。

【町長】

端的に言うと、町のほうの聞いている話と食い違う部分があるので、その辺りも含めて確認しなければならない。

【意見】

最近町の情勢を見ていると、公園の整備や防災関係のお金も割と動いており、遊具の老朽化などにも更新をかけているものと思うが、今の子ども達は30年前の自分たちの頃と比べても公園で遊んでいる子が少ない。

また、昔は子ども達だけで遊ばせていた時代と違

い、防犯上の関係か親が傍を離れずに付いている家庭も多く、公園の使い方というもの自体が変わってきているのを感じる。そうした時代の流れも考慮して、町として公園の再整備というのはどういったものかを想定しているのか。

【建設都市整備課長補佐】

芽室町内には現在、緑地なども含めて55の公園があり、そのうち遊具などのある公園については25。それらについて現在、施設の長寿命化という観点のもと遊具の更新を行っている状況。老朽化している物の更新と、子どもの遊び方や地域の使われ方も変ってきていている部分もあることを踏まえて、現在、公園の在り方というものを再構築しようという考えをまさに検討している最中。

その考え方の中では、核になるような地区の公園を設けた中で、小さい公園については使い方を見極めた中で集約をして行い、災害時に一時避難場所になっている所もあるので、そうした場所には広場を作ること、老人の多い地区の公園には老人向けの健康遊具の整備をする等、各地域に合わせた公園の在り方を考えて計画を作っている最中。

【意見】

すごく残念だと感じたことがある。

自分は子供が芽室幼稚園に通っていて、隣に小さな公園があるのだが、その遊具がどんどんダウングレードして刺激の無いものになってしまった。また、真ん中に木があって、それが実質最後の遊具のようなもので、園児達はそこに登ってすごく楽しんでいたのだが、それも去年の秋か冬に突然ぱっさりと無くなってしまい、子ども達もすごく悲しんでいたのを覚えている。安全や責任の問題など色々あってそうなっていますのは理解できるが、使わない遊具を置いておくというのもおかしいし、総合的に何か考えなければいけない時期になってきていると感じる。

【建設都市整備課長補佐】

美園公園の遊具は2、3年前に更新、木に関して

も芽室幼稚園側の木が大きくなり過ぎて新築の校舎の屋根に樹液がかかることで一部伐採した。その中で、幼稚園のほうからオンコの根が露出して土も出ていて子どもが乗って折れたら危険という話から伐採になった経過がある。遊具も含めてどうしても安全寄りの方向になってしまうのは確か。冒険心を育てるような遊具の検討も考えている。

【町長】

今回の再配置構想ではピウカ親水公園がある。これは北海道が平成28年の災害を受けて河川改修をやるということでそれに合わせて堤防の整備、一部には遊具設置を考えている。

芽室西小学校の付近には新しい住宅もできており、小さなお子さんも多いことから遊べる場を作る構想。その際は地域や時代の状況によって、遊具の中身も変えていくことの必要性を感じている。

また、維持管理する範囲も町内55公園・緑地についても、ずっと置いておいていいのかという所もあるので、そこは人口減少も含めて進んでいく中で、あるべき数というのを町として検討していく流れになっていく。今後の考えをしっかり持ちながらやっていきたい。

【意見】

質問。じゃがバスの利用率は現在どれくらいか。

【企画財政課長】

1便当たりの平均乗車人数が10人。これは全道的にも多く乗っているほうである。

【意見】

そのじゃがバスについて。芽室小学校で自転車通学が無くなってしまったことで送り迎えが大変。部活の時に最終便を7時くらいまで延長してほしい。共働きで送り迎えに苦労している家庭も多いので、そうした便があれば助かるので検討してほしい①。

【町長】

市街地の活用という観点から今の意見は貴重だ。

じゃがバスはあまり乗っていないような印象を受けると思うが、朝の病院に行く便だとかを見ると結構利用人数は居る。平均10人がずっと乗っている訳ではないため、そういった意味では特に遅い便ではあまり乗っていないように見えると思う。

料金に関しても、色々な場所で現在の100円が良いのかという議論などもあるが、私もう少し利用率が増えていかないとならないと思し、その手法も検討する必要がある。

例えは、現在は片道だが理想は山手線のように右回り左回りで回れるようになると時間に関してもかなり融通が利くようになるので、本当はそうした形にしたい。

また、今ご要望のあった部活バスの話に関しても、部活の時間が部によって違う部分もあるので、そうしたものを上手く考えられないのかというご意見も農村部で出た。

市街地であれば、上手く活用してもう少し遅い便で子ども達も乗れるように出来ればやりやすいかなという風には思っている。料金に関しては今すぐどうこうとは言えないが、今仰ったようなニーズがもし多いのであれば、こうした活用方法も良いなと感じた。

【意見】

今の時代なのでアプリを活用してすぐ乗り降り出来るようなシステムであるとか、乗りたい人の所に行って降りたい所で降りられるようある程度の仕組みがあれば良いと思う。平均10人なら不可能ではないと感じる。

【町長】

現在、バス会社では「MaaS（マース）」というのを積極的にやっていて、これはアプリ等で申請をすると最適なルートを考えてくれて、バスなりタクシなりを回すことができるというもの。その可能性はあると思っていて、今度バス会社社長と会って色々取り入れられないかということを考えたい。すぐに出来るかどうかは分からないが、あまり乗らない路線なのにバスだけ運行していても意味が無いので、

いかに効率的にやるかというのを考えていきたい。

また、お子さんの課題だけでなく、高齢者の免許返納後の足の問題もあり、家族にも送迎を頼みにくいという声があることから対策を考えている。

【企画財政課長】

農村部の方で年齢要件や免許返納者などある程度条件はあるが、タクシ一代の半分を助成する制度を現在試験的に実施していて、2月にモニター実験を実施する予定。1か月につき1人2回まで、これは町に行って帰って来るのを1回とカウントしての2回。つまり、月に2回町に半額で行けるような形を考えている。夏にも一度試験を実施し、極端に利用が多かった訳ではないものの、その際のアンケートを見るとやはり「あった方が良い」との声が多かった。

今後、免許返納の流れがある中で予定では来年度から本格的に通年で実施しようと思っている。半額は自分で、というと確かに負担に思われるかも知れないが、例えは2人で乗っていただければ無料になるし、タクシーカーにしても台数や運転者数の関係で2人一緒に乗った方が大変ありがたいという話を聞いている。農村部の場合、バス停等が遠く自宅前で乗り降りしたいという声や、自由な時間に行って帰って来たいというニーズを考えた結果、現段階ではこのような形に落ち着いた。

【町長】

先程の部活のバスに関しては、ご自宅からということか？ どういうルートで回って欲しい？

【意見】

単に学校も加えて欲しいということと、7時くらいまで便を出して欲しいということ。学校さえ回てもらえば、自宅は東めむろであったり、家が近い停留所もあると思うので、他に複雑なルートなどは不要と感じる。

【企画財政課長】

バスの時間を伸ばす・増やすということに関して

は色々なハードルがあるが、バス停の場所については、来年でじゃがバスが走ってから10年とのことで、当時と状況も変わってきているので来年1年かけて一度全て見直そうと思っている。

確かに現在のルートだと芽室小学校・芽室中学校周辺へは行かないので、来年の見直しの中で、今の部活バス等についてのご意見も参考にさせていただきたい。

【意見】

今回温水プールや親水公園など大きな事業が多いと思う。帯広周辺の市町村の中でも広域の連携や利用について等話し合ったりするのか。

【町長】

温水プールに関して。平成2年にスタートしたが、当時は通年利用の予定が無く、冬はゲートボール場で使っていた時期もあった。その後通年でやるようになり、相当老朽化が進んでしまったという経緯がある。水を使う施設なので傷みやすいため建て替えをしようという話になった。その時に広域でということも考えたが、まず1つとして、公共施設全体としての利用が落ちている中でも温水プールの利用者数というのが結構伸びていたり維持されていたりという実態があった。最近では高齢者が水の中でのウォーキングなど様々な年代に人気のある施設。

その前に色々と帯広との関係も考えたが、やはりプールに関して言えば地域にあって使える施設をというのがまず一番にある。検討をするとしたら帯広の森のスイミングプールとの連携ということになると思うが、そうなると交通費等含めて考えなければいけない部分もあり、芽室は建て替えという方向になった。ただ、プールさえ建てばそれで終わりという訳ではなく、構想だけ話すると総合体育館のトレーニング室が現在老朽化していることと、間にある勤労青少年ホームの利用数が今ひとつということで、ここを改修してトレーニングや軽い運動が出来るスペースを作り、プールや体育館と繋げて行き来出来る形にしたいと考えている。

【意見】

芽室の施設はコンパクトなイメージがあるが、個人的には帯広圏の4市町村の中でしっかりしたものを見てた方が良いのではないかと感じる。

コンパクトにやってしまうと、建物は建ててもソフトが上手く回せず結局人が集まらないということになるのではないか。トレーニングに関しても、今は一般商業施設もあるので、そうした所に行っている人も多い中で本当に町に作る必要があるのかと思う。これまで施設があったのだからそのまま同じように作るという流れが通りやすいのは分かるが、そうした中途半端な動きより、本当に必要な方向性を出せるようなリーダーシップも必要なのではないか。

【町長】

かつて平成の大合併の時代があり、あの時に自主自立をするためにどうするかと考えた時にかなり広域のことに関しては検討した経過がある。総論としては今のようなご意見は良いのだが、やはり個別の話になってくると各市町村の思惑があり上手くいかない部分がある。

【意見】

恐らくそれだけのリーダーシップもそうだし、コンセンサスや何かが強いものが無いと成し得ないと思う。

【町長】

例えば、先程の1市3町の話も本当にトータル的に合意して、広域利用をどんな部門でもどんどん進めましょうというようなはっきりしたものが無いとやはり中々難しい。

【意見】

逆に、町民側の方も「うちの町はこれなんだ」というような気持ちのコンセンサスが取れてこないと難しいと思うので、どこからが先かという所ではあるが、全てを整備しなくても良い気はする。

【町長】

芽室町も管内では早くから公共施設の整備をしている町なので、その後に施設を作った町や村が立派になってしまったという事情はある。町民からも色々な意見要望があり、ちょうど今建て替える時期になってきているというのが実態。

【意見】

個別の小さい会議室や何かでオープンにしている所の利用率というのは実際どのくらいか。

【企画財政課長】

申し訳ないが、細かい数字までは手元に無いが割と埋まっている。

今後、中央公民館を少し改修して小さい会議室を増やそうと思っている。先程説明した通り、今度教育委員会が役場に来て少しスペースが空くので、ニーズの多い中規模～小規模くらいの会議室増やしたいという構想がある。

【意見】

確かに昔より、個別の趣味で小さく集まって色々なことをやるという時代にはなっていると思う。めむろ一どの下のセンターも予定表を見たらかなり埋まっている。利用人数の少ない町の施設を見ていると、「もったいないな、もっと使えばいいのにな」と思う。

【企画財政課長】

この施設に限った話ではないが、確かに地域福祉館を建て直す時には市街地も農村部も全体的にはコンパクトになる。

【意見】

市街地の施設も集約しても良いと感じる。農村部を作る必要性というのはそんなに感じていないし、無くなつていけば皆住宅も町にずらしていくと思うので、そんなに必要なのかと疑問。

逆に、管理の仕組みがあるからこそ合併どうこうが進まない部分もあると思う。

【町長】

この地域の人々が町の中で使える施設があると良いという感覚は私も大切だと思う。むしろ他の地域では、やはり自分たちの地域の所にという感覚が多いので新鮮に感じる。

【意見】

うちの地域の人々は、実態的には半分程度市街地に住んでいるというのが大きいと思う。親がこちらにいたり、東めむろに住んでいたり。

会議室は、本当はネットですぐに予約できて管理されているのがば良いなと思う。しかし、もし地域というかここがそうなってしまえば、片手間で管理出来るような仕事ではないので、逆にここに縛られて何も出来ないことになってしまう。どこまで面倒を見なければいけないのかと思ってしまう。あくまで地域の人が利用しやすいようにという大前提の昔の仕組みとしては良かったと思うが、現状地域のコミュニティ自体が薄くなっている中ではバランスが悪いのかなとも感じている。

結局、管理の問題は常にがあるので、もっと統合的に集中して管理する人がいて空間を使いやすい形で使える方が楽だ。

【意見】

建てるとなれば5～6千万くらいはかかるのか？

【企画財政課長】

概算はその半分程度。もちろん決まったものではないが、今の財政計画上は補助金を想定したものである。

【意見】

嵐山に関しては、今後町としてどのように盛り上げていこうとしているのか。

【町長】

1月の31日にシンポジウムを予定しており、その場で新嵐山の今の構想を町民の皆さんに公表しようと考えている。去年1年サウンディング調査とい

って、民間の方々も含めて資源をどう使うかという提案を頂いたが、その中で町として「ここの場所はこういう風に使っていこう」という整理した構想を皆さんにオープンにする。

事業については全部を役所のお金でやる訳ではなく、町が大家さんのような感覚で民間に貸し出して使ってもらう構想だが、スキー場と宿舎の部分に関しては、こちらは町としてある程度責任を持って今後も運営して行きたいと思っているので、そうした部分は分けつつも、先程触れた整理、ゾーニングを図面も含めて公開したいと思っている。

【意見】

嵐山に限ったことではないと思うが、今の芽室のこうした施設は内容どうこうではなく、運営上の問題で非常に使いにくさを感じる。例えば、よく聞く話で、「芽室公園でイベントをやりたい」と申請を試みた所、「芝生が傷むから駄目だ」と返されたとか、非常にきちんと管理されていることは理解できるのだが、本来こうした施設が何のためにあるのかと多々感じたりする。

今度の嵐山にしても、「こういうことのために使って欲しい！」というような方針的なものがもっと強くあれば、色々な使い方も広まっていくのではないか。他の色々な施設についても、例えば防災公園として整備したあいあい公園なども、あそこであれば200人から300人程度のお祭りや小規模なイベントを行うにはとても良い場所だと思うし、防災の施設を備えているので恐らくトイレの関係なども用意できたりする。こうした、色々なことが出来る環境というのを嵐山も含め芽室町は持っていると思うが、それを活かすためのソフトや管理の方法というのが一切ないので、何かをやりたいと思った人がいても、大きな団体にでも所属していなければ容易にはやれない現状にあると思う。

【町長】

新嵐山は役場だけで集まって色々と考えた所で良いアイデアは浮かばないので民間に貸し出すことも必要。色々な考え方の方が使っていただける姿勢のほ

うが良いと思っている。今は公の会社になっているが、将来的にはやはり民営化というのは考えられる。

もう1つは、施設を開放するような意識も大切だと思っているので、今仰ったように、資源を持っていてもそれらが使いきれていないという状態なので、こうした観点は持ちたいと思う。

即座に「芽室公園の芝を全部開放します」というような極端なことにはならないと思うが、いずれにしても、こうした意識・発想は持ちながら、少しずつ今までの体制を変えていきたい。

【



15:30 終了